



東日本ユニオンにいがた

http://niigatachihon.yukigesho.com/

JR東日本労働組合新潟地方本部

2024年11月1日発行

第11号(通巻第331号)

発行者: 星山 圭 編集者: 教育・広報部

2024年度の冬期の取り組みについて 労使での議論内容が多く反映

新潟地本は10月18日に支社側より「2024年度冬期の取り組みについて」の説明を受けました。2023年度申24号・2023年度冬期検証に関する申し入れの団体交渉での議論をはじめ、この間東日本ユニオンとして要求や提言してきた内容も一定程度反映された内容となりました。

■除雪・運転計画、運転整理

除雪計画優先の無理のない運転計画を早期に判断決定するため、ウェザーニューズ社から送付される降雪予報について、何時でも誰でも閲覧可能とするしました。

また、降雪予報のエアポケットをなくし、運転区間の見極めやホーム除雪等を含めた除雪計画の策定に活用するため、降雪予報駅を現行45駅から79駅に拡大予定としました。雪害が予想される場合は運転規制の発動、必要により列車を運休し、日中時

間帯の除雪間合いを確保するとの考えを示し、上越線に長岡〜小出間の折返し運転パターンダイヤを設定、北越急行の単独運転も含めて運転可能な線区では柔軟な折返し運転を実施するとしました。

■構内消雪・構内除雪

試行としてきた乗務員によるポイント不転対応は、今冬期から24駅で本施行を開始するとしていました。

庄内統括センターにおいては、秋田支社管内の羽越線ポイント不転対応と雪抱え人力除雪の両方に対応するとしていました。駅ホームの巡回除雪については、12月や3月の突



発的な降雪に備えた作業指定日の振り分け、作業指定日以外の降雪に対しての臨時発注に関する基準の見直しを図り、継続したお客さま乗降スペースの確保を行うとしました。見直しの内容について

倒木・支障木の未然防止対策として、今回新たに信越線・新津〜加茂間、越後線・内野〜新潟大学前間で竹林の事前伐採を実施するとしていました。

霜情報を活用し、上越線、信越線において臨時単行機関車の運転を計画的に実施するほか、新たに越後線では必要に応じて回送列車の運転を検討するとしていました。

長岡駅南部構内における定期列車の庫内夜間留置は期間の延長も検討し、必要に応じて実施するとしていました。

新潟地本で！ 千葉地本で！ 相次ぎ加入！



新たな仲間と 共にがんばろう！

車両関係では、E129系の一部車両に、パンタグラフの舟板にステンレス加工を行ったカッターパンを試験的に整備し、信越線・上越線において架線凍結に対する有効性の検証

■架線凍結防止対策

施工期間を工夫し、10月にトロッコ線塗油、及びトロッコ線加熱時間の延長を行うとしていました。

また羽越線にわたらの発生状況をリアルタイムで監視するカメラを設置し、つらら発生による輸送障害発生を防止するとしていました。

上中越支部第14回定期大会

東日本ユニオンへの期待の声を結集させ 私たちの生活向上を実現させよう！



労働環境の向上に向け取り組んできたこれまでの成果と課題を共有し、田上議長のスミーズな議事進行により大会は成功のうち一年間の運動方針を確立しました。

2024年度年末手当 基準内の3.8ヶ月分 賃金の

会社の業績は好調に
社員の努力の成果に
見合う年末手当を！
要求満額実現のために
東日本ユニオンに結集しよう！

(上中越支部投稿)